△外務省側

來栖週商

局長。若松商務官

工業組合土田。松島、人絹膠、土業組合安部、日本、 染色

米國の金販賣許可は

國境の密輸を

野次官、工務局長以下關

等の諸氏出席。吉野次官主來等の諸氏出席。吉野次官主來極局是の報告の後協議に人つたが、之を機會に業界を統一し一致協力して政府を支持するここを民間側で申合せた後方の決議を為し正平散管したシムラ資商に人絹が問題さなる場合商常業者を現在地に派し政府代表主協員して

滿鐵、烏鐵連絡協定

「東京二日發起湖」商工省で

シムラ曾商人捐酎策を決定

京原新

ソ聯代表パリスニコフ氏はロ「教質」日養師頭」北鐵芝游

玉を碎く

代表が一つ

氏

時天草丸で来朝した。今朝着 『ウ夫妻ご共に昨二日午後三 日本後三

吉

無無無上映上演

日日案內

(高根秀浩畫)

変宴機機入(電話四人二〇番) 変字機機入(電話四人二〇番)

泉の密

像に大童さなつてゐる 像に大童さなつてゐる なる官

輸入制限令

人貿易額

なら英一が呟くやうにいふと きう英一が呟くやうにいふと

めく 森 CIID

ないと同らいると、また誰がこんな宿無しと同らいると、また誰がこんな宿無し

(絹對策官民協議

日商工省で開く

十九萬圓 出超四

大質はにやく笑ひながら騒

人の女に闘係したといふことだけ

にも話せないよっが兎に角ある二

てさあ、そいつはちよつとまだ誰

遺金 高價買入

東二條 明 0 世五

英一の方でも微笑を類に浮べ

百 九

し分けるやりにして、とつちの

んだい

『ふん、それぢゃあどんな仕事な

日本論曲 大 和 详 行 新 和 详 行

計画の重要部門をなしてゐる であるが右は國民經濟の加速 の振興を圖る第二次五ク年 時

するものご観られる 「東京二日最級通」在パタビー 「東京二日最級通」在パタビー 大田県通過

破棄と看做す 満鐵の態度决定 七月中全講輸出入貿易總額は七月中全講輸出二億七千二百八十六萬五千圓で三百五十萬二千圓の輸入超過を示してゐるが。一月以降累計は輸出二億七千二百八十六萬圓で四百九十九萬圓の輸出超過を示してゐる 勸銀大幅の

で自ら暇るやうにいつてから、 大質はもうすぐさう皮肉な調子

つてゐる方が氣がきいてゐるから

と一緒に來るやつなんてるやし

は微笑みをしながら、

「何だの相壁らず女の事か…

ん、パレットナイフなんぞに

底の知れないやうな臓でぢつと恋

はどひや」かにいつて、ちろりと

新京帰地下食堂電話二九元六 本人直接米紫あれ 本人直接米紫あれ

大貫は頬の肉ひとつ動かさない指盤を 野の肉ひとつ動かさない

人さの僕のやうなや

『うん……。 君だつて見に來て

に來るやつがあるんだね」 適つてゐないが、女の手には血が 多いと見えて、こんな芝居でも見な。第一パレットナイフには血が

務所を通じて手交され、その に殺した領島連絡協定膨栗通 に殺した領島連絡協定膨栗通 に殺した領島連絡協定膨栗通 新所を通じて手交され、その 大要が一日午後端曦本礼宛に 乗を行ふ時は三ヶ月以側に選 乗を行ふ時は三ヶ月以側に選 のであるが、強機では一九二 ても硬薬し得るこの留保を附 して存績を承認してゐるもの であるから八日附端告を以て 満島協定は消滅したものこし であるから八日附端告を以て であるから八日附端告を以て であるから八日附端告を以て であるから八日附端告を以て であるから八日附端告を以て であるから八日附端告を以て であるから八日附端告を以て であるから八日附端告を以て であるから八日附端告を以て であるから八日附端とし再び としての反駁等を確送し再び とに對し鳥鍵側より何等かの 合は心事に方針を決定した

貸付利率引 下を決定

日

年の歳月を登してゐるがツ聯

「東京二日最齢通」金輪出禁止下にある米調景近の事情に 開し二十九日最表された金販管 月二十九日最表された金販管 野するに米観さカナダ観境時 でので別段米観政府の貨幣政 もので別段米観政府の貨幣政 を要更したものではない、

京

取締るため

弗の平價切下げけ行はれ

まい

キロワットに踏進し、

聞

行はゆき一般に觀られて苦る米崎政府は弗の平億の下げを

また最近に至りモスクワの電機工場「スタリン工場」で優秀なるトランスフォーマーを製秀作し世界的に有名なゼチラが、エレクトリックを開発の輸生、燃料、速力、貨客の輸出を開かるに至つてある。 いっぱんを図る前提さしてソートの電化を図る前提さしてソートの電化を図る前提さしてソートの電化を図る前提さしてソートの最近に至りてもある。

(ハルビン二目機が通」北域 管理局は九月一日より北限。 管理局は九月一日より北限。 強の引下けを行ふここになつ な、即ち新舊タリフを比較す れば満洲里、ボグラ間舊タリ フ十三圓二十一銭(金ループ

諸部門の電化

の関心を持ち各常局を鞭撻 の関心を持ち各常局を鞭撻 してみるが右につき ハメビ してみるが右につき ハメビ

に就て

0

のも大型庁の加く砂表してつき大型庁の加く砂表して

尚本夏期日本皇軍が高粱繁茂

財政部總務司長 星野直樹

て質師して居る

新

連絡タリフ

鳥鐵との

全般的に三割引下ぐ

電域子、ボグラ間答タリフ 九川七十七錢、新タリフ六間 高、斯くて北鍵タリフ政策は 一面一般商人の要望を元たし 一面一般商人の要望を元たし の新任披露宴遠藤總務廳長 八日開催

被露宴を張るこさしなつた に氏間有力者を招待しの新任 に氏間有力者を招待しの新任

他面北磯、鳥瞰の連絡タリフ を親密ならしめんごするもの

英一はちよつと過り返すやうに さういつて笑った。が、大賞はそ んなことには怯まないで、傍若無 人の大きな驚で、

して先づ密耕作、販資、密吸して先づ密耕作、販資、密吸飲を完全に政府の作。販賞、吸飲を完全に政府の作。販賞、密吸飲を完全に政府の統制下に行ひ、而して後之が統制下に行ひ、而して後之かであります。 全に競連しつつあります。之を要するに顧洲畝の財政就中歳人の以上論洲國の財政就中歳人の けて斑根へ行くつていつてるたが一种難らずだな。しかし君はとの一种難らずだな。しかし君はとの でいや、僕は芝居なんか見に來てなんてひとつもありやあしない。あるんぢやないよ。僕は幕間を斃やないか。ほんとに僕はあんな腹。これに來てゐるんだ。つまらないが立つたことはないよ。隱を吐きしないが。 んとに持つて來いだ。はゝゝゝ

対の観立電化委員會の調査によれば隧道の駐化を除き三十ケ所の發電所開設(一五〇萬キロファト)計畫は巳に一九ランスからみればソ聯は昨年度に於て巳に英國を凌駕してあるがその施設に於ては遙かと英國より劣る又事業の急速な發展プロセスに於いてはソ聯は世界第一位にあるさ云ムも過言でない。更に發電所問題に至つてはソ聯は他の急速な發展プロセスに於いてはソ聯は世界第一位にあるさ云ムを過ぎてない。更に發電所問題に至つてはソ聯は他のあるが去

間に於ける調內治安維持の監 小教配置せらるるに相應じま して各地方の荷も税務機關の 存する處には中央より税務機 場に中央の意志を充分に諒解 せしむるき共に各種の資料を 並しむるき共に各種の資料を で、この調査の完成致しま す際には頭別の財政經濟の撤 して、この調査の完成致しま して、この調査の完成致しま して、この調査の完成致しま

事實制度には護多の之が準備を要しましたので漸く略卸網を要しましたので漸く略卸網を要しましたので漸く略卸網を要しましたので漸く略卸網を要しましたので漸く略卸網を要しましたので漸く略卸網を要しましたので漸く略卸網を要しましたので漸く略卸網を要しましたのであるから はまいりません はまいりません 日で進歩菱版の途を歩んで氏ないかも知れませんが一日一

はムシュ

起で踏み振ってやりたいほど、妙いつを一枚と々引つ餅がして、土

を描く気になったんだね

て雛事中の雛事であります。 の電に一臂の力を異よる様な の電に一臂の力を繋げて行き、以て をあ歩みを繋げて行き、以て をあがして東亜の平和の確保 の電には日本帝

世事ぢやあないよっ 戻はもう 動い でも続きなんでそんな気のきかない 「壁動なんでそんな気のきかない」 の「さらだなあの出来上がるまでにいる。 供しあるひはもつと早く出来上がるまでに 単しろ販職な融付で、ひどく興血目といつて聞いたが、しかし大質はむといつて聞いたが、しかし大質はむ な関子に答へた。

のやつの一人ちゃない 『成る程、智は生きてゐる繪をゑ

若無て呆れたねっどの繪もどの繪もみ 込あれる。
・ 電話三八二八番 東三條通三八謝公館南霧 西田方山 師範 西田方山 尺八扇指

最上電

電話 [[] | | | | |

んな死んでゐる

… の見られる

値段は大勉强致します

御下命を……祝町三ノ三

松井電氣商會

電話三八五一番

多量着荷致して居ります

福等法花泉旭春 徳傳法花泉 旭春 徳傳法花泉 川荘正三 女 電話二五四四番 電話二五四四番 電話二五四四番

「何吟頭その細は出來上がるんだ」 「はムムムム」それで生きた絵 · 侯 出 勉 强 言 派 質品 安 膏 祝町三十日七四 連大店本



住宅 結婚 昭介報 田のに 新屋 仲介親並

紹介處 萬成 社

御

1、食事の股偏有り至急御申貸事務所

館代千八料

町野吉春長

AMAGURI-TARD

シントン 架は世世紀 滴たるかはり 古

台灣 バナナ 郎梨 百匁……十八錢 百匁……十五錢

太 長二八八七香 郞

球各種

上花國 吳產 御豐 鵜殿兄弟商會 は 電話二四八二番へ

1

臺 世帶道具が揃ひました!! 新京日本橋通

家具に敷物

品

]1

洋

2 34

行

至自 九八 月月 八三八 + 日日 + Ħ

場臺灣 年 ij 回 0 大 奉 間 特賣 仕

致して居りますきつど御格好のものが御手に入ります、是非此好機を御總數壹千點餘を陳列し加工實演を御目にかけて然も産地の卸値にて提供 見逃しなく御來店を御待ちして居ります

岩田サンゴ店出張

行

内地本場より 本年初めての御目見得

廿世紀梨 閑 百 百 タ……三十 タ……二一十 錢

味のよう トロッち

博多屋

右署名に當つてスワンソン長官は語るの外に目下二隻逃造中であり全邪竣工の曉は三十九隻の精鋭を有することでなるもの十六隻は極軍で逃避される筈で此の外に目下二隻逃造中であり全邪竣工の曉は三十九隻の精鋭を有することでなる名し斯くて米減の大途艦計畫は愈々實行に移るときでなつた、右三十七隻中民間造船所で建造されるのは二十一隻で残既に民間造船所に對する請負入札も終へ建造に署手するばかりでなったが一日海軍長官スワンソン氏は右請負計書に署既に民間造船所に對する請負入札も終へ建造に署手するばかりでなったが一日海軍長官スワンソン氏は右請負計書に署行フシントン一日建設通り、米國海軍補允計費による軍艦三十二隻並にはに議會の協資を経た五隻。合計卅七隻の建造は 雅所の浚渫開始 ステ本二日度映通」一時側行不可能さ見られてぬた白河の 状態は衝次好轉の一途を辿り 界下手回船場並びにその他の 群所の浚渫が鳴始され、先づ 十日過ぎには吃水十尺、船長 十日過ぎには吃水十尺、船長

可能さ見られてゐる

關東軍擴張即

问題

陸軍省と参謀本

部で審議

総數實に三十七

者に職を與へねばなられと云ふことを常に頭に置いて居たのである領は單によき海軍を持つ必要を感じたのみならず同時に建艦事業によつて失業取も直さず何國にも劣られ世界第一の海軍を作ることになるのである、ル大統を踏み出すものであることを希望する、ロンドン條約限度まで建艦することは余は建艦開始がロンドン海軍條約によつて定められた限度までの建艦の第一步

日四月九年八和昭

有名な船の名前で闘逐艦には有名な海軍縣校の名前で潜水艦には深海の魚間海軍長官は新建造艦に夫々命名したがその名前は巡洋艦には部市の名。 米の大建造計畫につさ 潜水艦には深海の魚の名を附した 有名な戦争の名。航本母艦には昔の 一、人心の助名と、たの理由によりは別究の結果、左の理由により

海軍消息通語る 軍會議に臨むこすれば、1年の延長であった、スワンソの延長であった、スワンソの延長であった、スワンソの延長では何気にも劣らぬ世界一の海軍を超るにありる。この精神を受てアメリカが来るべき損害体目 手續きを執つた 政府に對しアグレマン請求の

軍消息組は左の如く観察して 米崎の大連艦計農に觸し、海 に東京二日麓前遇」 尨大なる

「東京二日観頭通」中央監糸 管では二日午後二時電糸會館 で評議を員号を開催の結果。 今秋のパリ頭烈桐葉會議には 找に表さして滯米中の食鑑婦 合會副曾長加寧知正氏を派遣 するここに決定した 藤氏を派遣 滞米中の

日本の第二次補充計費はア と関施するが、夫はお門違なものである、斯る大連艦 なものである、斯る大連艦 なものである、斯る大連艦 を関施するアメリカが日本 を関施するアメリカが日本 突泉縣は (東京二日發超通) 勸業銀行

びの暴論だ。アメリカが、夫はお門

に之以上の大計職を高す

100 比率に接近することでなるもので、新る建樹計画なに日本がロンドン條約結構の際はアメリカが新る大振張を早急になすべしさは考なかつた。数字上の比較はす程は對三であつたが、数字上の比較がある建せ計画であったがある。

常分中央部管轄 「愛天二日漫画通」既は突泉 に遂に漢族對蒙古族この民族 は遂に漢族對蒙古族この民族 を対しいこして問題は新 が中央部に移管されたが中央 がでいてはその後引続き場合 付にして利率年七分二厘を地整理組合。産業組合の貸 二百萬國を十月一日より左の既往賃付中利率高き三億五千 活り利率引下けを行ふ 越へるものは七分二厘に引

首相今明中に

ツ國際絹業

塚本病院長歸省

四部隊長

人心の動揺甚しきものあ

連日陸軍省で参謀本部場合會上の基礎故、陸軍中央は取りの問題が明年度議洲事件費計

八田副總裁

富田局長と

小坂前次官

南嶺に故勇士の

を用ふ

しきつた住民 4 最近漸く活気 となり、舊軍閥の抑壓に疲弊 さなり、舊軍閥の抑壓に疲弊 ではか資の集散頻繁

日夜彜列車で郷里靜岡へ二週間職新京醫院長塚本良顧博士 勸銀の旣往貸付

ン條約改訂期迄に完成する 末即も一九三五年のロンド

の成果は推して知るべして軍會議に臨むさすれば、こ

治安維持に支障を来す戯れ

一項の解决に何等かの辞一

治の何たるかを充分理解して地方の一般氏衆は最近王道政

豊寧を視察

同地附近一帶を視察したが同は、一日飛行機で 豊寧 に到着

行は二日午後四時三十分では「林禰鰕峡裁、村上同理事の

全満勞働統制案の

十月一日より實施 は七分五厘に引下けるものは七分八厘に引下けるものは七分二厘に引下けるものにして七分八厘を越へるものにして七分八厘を越へる して七分巾里を越へるもの 統制機關を設置勞働者需給維持確保の見則より全關勞 安定せしめるさ共に。年來で調整を闘り勞働階級の生活 一大懸条たる関軍改編並 維持確保の見則より全職券が開州調政府に於ては認内治

6に央定し ののでは、 日備聯合勞働研究會議を開催解決を闘るべく數次に且つて東苦力入議禁止問題の根本的規則の根本的 息々その大綱決定を見たので

爲替安定協定を拒絕した結果かれた世界經濟管翻に於ては 帰國の率るる歐洲大陸金本位

張して來た、新伽軍政策の養 にるに日米關係は何ごなく緊 比の間 米線は失業教育

號大十三

藏相の健康恢復

七日歸京

するに決定。即日ボーランド (東京二日を観明) 旬酢ボーランドを使河合博之氏の後任に就き鎌て設飾中であつたが二日内田外相は避際聯盟帝政 一番 (東京二日を観明) 旬酢ボー

さすれば南者の衝突を來すこのが斯様な略策を遂りしやう

の諸條約を基礎さしたステームソン氏の所謂不承認主義なごも確に鹹漿の一きなつたのであつたが、今や佛蘭西の率るる歐洲大陸經濟プロック火は英帝或經濟プロック火

ってい

御事は何々せよご命

め破策路ににある諸機關に

して失々任務を授けるので

な研究を認け最後に伝論を

除の諸方策ミ云ム順次に綿密策遂行に對する障碍、障碍排

を行って

ď

が構て

を安心して

貴へる店

百八千三

引揚け歸京の筈である

協議を遂げる豫定ある。 とり着手すべきやに関し重要 費行するに際し如何なる観策

ド公使後氏

伊藤述史氏

り其の穿りに努める結果、米 の各回く夫々或策を持つて居 髪の余地がない、然るに世界 をおっているのではない。然のに世界

駐ポーラン

大調の対策は何であるかさ云 な主義であるさ一般に信ぜら れて居るが、米域の領土を維 はして行くこさく世界到る處

充分な 軍備、殊に海軍 を以て之を支援しなければな を以て之を支援しなければな

府の末期に於ては世界戦争後

(8

國策問題につ

き重要協議を行ふ

的にする必要あり七

救療の美名

に隱れ

土地原劃整理組合貸付に

けらに央

海軍擴張をする米國

モンロー

主義は領土維持の楯

海軍大佐 關根郡平

海軍政策に進むには如何な網策である。斯様な網策か

矅

藏相を訪問か

利率引下げ

来る五日開催される軍特務部 になった。其の内容は総秘に がて基本方針を確立する選び がであるが 一、全頭治安の確立を励るため日講合動を配め 給會社を設置。全講勞動統 制を圖る 一、勞働統制を徹底せしむる ため現在勞働者配給を行つ ため現在勞働者配給を行つ て居る福昌華工會社を始め 各種苦力供給機場全部を解 消、勞働會社に合流せしめ 各種苦力供給機場全部を解 国る

1、網籍法並びに戸籍法の制定を促進し労働者の移動を定を促進し労働者の移動を

算率問題は 誠にデリケート 自分には解决の確信がある 新任專門委員 バ氏語る

米國を 中心さして一つ はれる。とれ亦動しい型式の 大統領が対策目的を示し図過程を經るかご云ふこ、先づ さして居るのではないかさ思 6字。六月初旬から倫敦で開て世界を鷲倒せしめたのみない。 もなくインフレーション政策を採つたのであつたが、間 現政府 は就任後緊縮政

列車で東止しなが、パリシュ や七号五十三分敦賀 3の副院 ではいて、大妻さ共に來朝、同 二日午後二時敦賀人港の天草でかのンヴェート開専門委員で銀行のパリシュコフ氏は近年のソヴェート帰邦門委員

満洲經濟機構に

制制限問題の根本的解決を、特向問題及び山東苦力の入税制、需給調節を顕滑にし続いた語順兵態の勞働

第二条 郵政管理局は乙をア

第三條 各郵便政管理局を通常三條 各郵便政管理局を通り 長二 人 簡任 副局長 二 人 簡任 事務官 三十人 薦任

院各部官制中方の組告改止 株式會社に願する事項を管発工・大條に左の一項を加ふ に闘する事務は之を交領部に株式管社の設立に伴ひ回會社なは嫡日合辨の備洲電信電話

第七條 事務官は上官の命を 節大條 副局長は局長を輔佐 し局長が放めるごぎは其の 職務を代理す 三、備洲電信電話株式會社に第五十條に左の一號を加ふ 闘する事項 を 行す を からは 条布の のより 之を施

和蘭政府 制限を實施

ささして一先づ落著を見たちに興安省に編入されるこ

白河の溯行

好轉か

を實施するこ公表した、その お布ご晒綿布に輪制限割當制 を實施するこ公表した、その 結果未晒布は一九三一年で 使酸外務省着電、オラン 南アフリカ聯 ハケープ

邦富島の言明

九三二年三の平均月別は輸入で終止するこここなつた。晒綿布は七割五分以上の輸入を禁止するこここなつた。晒綿布の日本割富では三千三百

南阿聯邦でも 日本品に

團代表來京 法關係者會

運轉中の 臨時二列車廢止 博のため

生の壁を用ふきころがあつた 明四8の頭洲で慰慶祭に参列 明四8の頭洲で慰慶祭に参列 はく南嶺の歌蹟を訪ねて故勇

「大連二日 投影通」 議洲博覧 管開催中運轉して居た午後四 特大連般の七白五列車及一時十分奉天麓七白四列車の二階 列車は博覧官も終了したので五日より膨止されることと

長之を定む

中三茶鄉 十三茶鄉 一、商 號 确洲或信電話株 式會社 式會社 或會社

香

一 一 本富田大蔵省理財品長は五田 近く來原する

第一條郵政管理局は交通部第一條郵政管理に属し郵便、小包郵便、郵便為替及郵便的一位。電話無線電信及無線電信の監督に属する事務並電話の監督に属する事務を書

を集らしむらここを得の業務の監督に明する事務の監督に明する事務の監督に明する事務をを集らしむらここを得を集らしむらここを得を集らしむらここを得を集らしむらここを得を開使"小包野使野」便便貸替用の電景を 第六條 各野局の定員は交出 会任

第八條 事務官は上官の命を揮点督を承け最務を奪る

の各地に資く

東け事務を攀る 東け事務を攀る 本官制は公布の日より之を

力請負業(二)副號三附帶入 一、代支配員/氏名 一、代支配員/氏名任所出資/種 類及責任 一、社員/氏名任所出資/種 類及責任 一、社員/氏名任所出資/種 類及責任 中野區相生町十 二番地

トな関係にあるが之も自分 算率に就ては特にデリケー

郵政管理局

官制其他制定

満洲國で近く公布

第八條 技正は上官の命を承

品の大量輸入を防遏せんが含め日本よりの輸入品にして従来発税品にりし各種品目に新税を課し、これご同時に七曜本発税品に対し日型神士協定即ち日本個人ご単生の入戦に便宜を與へるご約せる一九三〇年の申台せを發棄されたいる建

十五分引返し、十日午後十時大年前八時着京、八時四十分以順道氏は令息一名同伴、七次順道氏は令息一名同伴、七次順道氏は令息一名同伴、七次順道氏は令息一名同伴、七次順道氏は令息一名同伴、七次の対象をである。

一、間原長次郎、近藤親、田景吉、山本峯吉、山本峯市、山本峯吉、山本正田景吉、山本峯吉、山本正田景吉、山本正田景吉、山本正田景吉、山本正田景吉、山本正田景吉、山本正田原長、南麓太郎 能される繊洲級司法諸係者會 はか八名は三十一日大連着途 中沿線を視察し五月新京に閉 中の場合とは一十一日大連着途 定することとなったが右南官環局官制、及び郵局官制を制 一、郵便、小包郵便、郵便為 替及郵便貯金事務執行官署 たる郵政管理局及郵局は昨年七月接收以來主さして從 前の制度を踏襲し來れるま ころ業務次第に増加し乙が 圓滑なる運行を期するには 現在の制度に改善を加へ職 制制定の理由

第一條 郵政管理局の事務分 衛に従事す

こし 存績 せしむる 必妥な 合併の備別電信電話株式會 合併の備別電信電話株式會

管理局官制は之を廢止す

郵局官制

大同元年数令第五十八號電政

本官制は公布の日より之を施

一、昭山八年七月三十日社員 小池俊一、同小池ふじへ其 持分全部テ社員加藤定吉二 持分全部テ社員加藤定吉二 一、宮東ノ建型 和港東 一、 西 號 梅 園 一、 西 號 梅 園

を経て会布の豫定である を経て会布の豫定である。 を経て会布の豫定である。 を経て会布の豫定である。 を経て会布の豫定である。 を経て会布の豫定である。 事務取扱の範圍は安保部總部三條 郵局の名稱。位以及 線の事務を分撃せしむるこ 指定し區域を定めて現業監第二條 交 4部總長は郵場を 野便貸替及郵便貯金の現業管理に屬し郵便。小包郵便

郵政管理局官制 第五條 各野島に関して左の交通部總長之を定む 認むる地に野寄代辨所を設置むる地に野寄代辨所を設

8.64 5.49

馬 官 二自四十五人 富任

事務官又は脳のを以て之に 野局に野局長を置き 郵局長は郵政管理局長の指

一、登上/年月日 昭和八年 八月三十一日 一、登休/小額 金五千周四 一、登休/小額 金五千周四 一、条件二付排込 6 夕 本 株金 額 金十二圓 1 十錢

一、監查役人氏名住所 一、監查役人氏名住所 一、監查役人氏名住所 一、監查役人氏名住所 一、監查役人氏名住所 一、监查役人氏名住所 一、监查役人氏名住所 一、监查役人氏名住所 一、监查役人氏名住所

を堅く信じてるる が東上の上心中日補富局の 事 往 來

是)同四井榮藏氏(正義劇本部寫

商業登記

一、 商號使用者/氏名出所 田村英雄 新京日本機構八 十五番地 有昭和八年八月十七日登記 古昭和八年八月十七日登記 古的 一、昭和八年七月三十日社員

本部和八年八月十四日登記 ・ 一、存立ノ時明 ナシ ・ 一、存立ノ時明 ナシ ・ 一、商號 御京百貨店 ・ 一、商號 御京百貨店 ・ 一、香葉所 新京日本時頭八十五 季地新京セル一階ノー ・ 一、 西號使用者ノモ名出所

京市野區相生町十二番

ツミ明るくなる

り弦に久しく忘れられて居た るに至つた、中央治安維持委 制定一見有カミな

た一種の自治制度にてこの 置き。五十家を大保き稱し

が舊制度を参照すれば次の如い舊制度を参照すれば次の如い

保甲制度さは支那に競達し

一下以上、一を根絶す治安維持委員會は瀟洲から

時代の貨制度たる場別及び支を對案を考究せる結果。演朝維持委員會が中心さなつて種 のが、日禰兩常局は更に恒久 前に王道樂土を謳歌してぬ害もなく農民は秋の收穫期

出卵管内の出卵に就いては新い一般の原理の原理に対けては新りを減らればない。 新和會が協力して 街の電燭を明るく磁盗防止

であるが、南廣場から朝日通であるが、南廣場から朝日通の努力で街頻照明のトラブをの努力で街頻照明のトラブをの努力で街頻照明のトラブをの努力でで通量の最も多い、日 一調査 保で準備中 同僚を射殺

本橋頭りを朝日頭、東四條通本橋頭りを朝日頭、東四條通を中間し南廣場以南兩側全部の街燈を六十ワットに骨燭し從來の薄暗い通りを一變せしめた、これに刺激を一變せしめた、これに刺激を一切を占めて居た朝日地派出所管を出加し强盗事件の第一位を占めて居た朝日地派出所管を占めて居た朝日地派出所管を占めて居た朝日地派出所管を占めて居た朝日地派出所管を占めて居た朝日地派出所管を占めて居た朝日地派出所管を占めて居た朝日地派出所管を占めて居た朝日地派出所管 は備洲ではごんな奥地に行

歌に於ては昨年同期三十餘萬 かで他は殆ご分散狀態に陥り かで他は殆ご分散狀態に陥り かで他は殆ご分散狀態に陥り がに終すの がでは東邊道奥地の交頭不 では東邊道奥地の交頭不

施を徹底せしめるため各戸 間清朝では本自治制度の貿等の犯罪取締りにあつ 南が

責任者を處罰し以て史寧秩 はる場合は連座法を適用し はの服賊或は犯罪者を出

土地だけに不案内な被害者 を訪れる途中の災難で未知 町二丁目三十七田中政雄氏 分嶋で観察の爲米京友人和

をさりラジオ中機の雑音除去所過信局では放送協會で連絡

右頭部に挫傷長さ約二種深さた際不意におそはれたもので 西二條網の中央道路に差懸つ止めず歩行を翻け西一條頒及 へす途中清水歯科醫院附近か

局の掌管事項は賭博、表淫 協の掌管事項は賭博、表淫 を局長に配した、保甲分 豪を局長に配した、保甲分 豪を局長に配した、保甲分

に 表札を配布し之に家長の名さ批丁の数を配入させ門口に貼らせ年毎に書き直させたものである 世たものである であつて 良民の生活の法令であつて 良民の生活を脅かす外匪を防衛せしむ

が方向の間違に氣付き引きか一度中央通新京署附近迄來た

中である、角即导逮捕された傷を負け磷餓病院に入院加療的五糎治療約二週間を要する が上告せねば一

署の日人職員 濱江稅務監督公

過つて

日四月九年八和昭

院しく走り来り漸くに関す五六名一團の演洲人間東立んごする際老幼園京近く耿火信號所を正

(四平街支局發)

あつた

道に迷つて歩く男を

棍棒でなぐる

性惡な満し

人捕はる

鄭重な見無電似を送られた尚性御殿場に在る西園寺会

由比、渡邊の

が丁度年前九時二十分頃でおいて第三四元號終油動車ではいる。一日午前大時二十分四

邦人勝手は遙かの切外に 北十歳近い老媼一人は快 にすがつて時消を信號所 へき急ぐのであつたが歩 行自由ならず取残される ばかりきなつた此の状を はかりきなつた此の状を

邦人澤手の親切振りを賞むしめた、並居る満員の車中には異り同音に右の車ので、並居る満員の

疑に設立された中央及び地方 帰匪 保甲制度復活說有力 た、而して保甲制度を統ぶな乗し一年毎に交代せしめ会乗し一年毎に交代せしめ 但久的對策とし

が友人を訪ねて和泉町二丁目町土木請負睾坂井速(四一)出

つてるた和泉町富外地居住菊呼したので幸ひ附近で凉を取 持の手規範を強奪逃走せんさ 城井氏の 路上を選げ したが被害者が泥棒々々き連 棒形の物で 一犯人 皮縣靴職人高関亭(五一)で新京北門外駅市場双成楼 - 宿人で新京岩町市場双成楼 - 宿人で新京岩町であっ

所印刷所勤務山本仲利(一七)氏が逸早く賊を発見需要地工務所店員福田長三郎(四 君さ協力舞なく賊を逮捕し 右被害者は同日午後七時五十 宅泉 氏の容憩は其後益々衰弱加は「東京二日後國或」巖谷小波 一般下より御見舞 小波氏に

に御遣はしになり菓物一籠を 長くも秩父、高松兩宮殿下に は御幼少の頃屋々師伽噺を卸 上げた小波氏に對し二日 年後五時半卿使を赤十字病院

陸軍被告は上告せず

一審で結審か

極刑を望んで居るから上告せず檢察官を議法に上告法規はあるが、被告等は被告は近く判决される譯であるが軍法

4 号三時頃ハルビン製市比層 「鉄鋼」(20)の眉上部に命中盲 鉄英鋼(20)の眉上部に命中盲 鉄英鋼(20)の眉上部に命中盲 務所に收容中の尾崎元判事は「東京二日銭認通」市ケ谷刑 けたが聞もなく絡命した 収容中の 轉向を誓ふ 尼崎元判事 本三日東京領事局宮城領事正本三日東京領事局宮城領事正

(可認物便郵種三第)

老媼

を背負

乘車に間に合はす

耿火信號所邦人驛員の親切

れこそ日滿親善

と慰問し、懸ろに優しい言葉を訪問、白衣の勇士達を親しを訪問、白衣の勇士達を親しを訪問、白衣の勇士達を親し

林總裁夫 傷病兵士慰問 お見舞金を贈る

関係せぬこさを決意しまし

春頃より満洲戦縣参事官によるの辞泉天主教小事校は本年 おの辞泉天主教小事校は本年

拜泉の天主教小學校

排日滿教育實施の結果 押收し同校を休校せしめたも排職抗日軍分布闘等の競嫌を

閉鎖を命ぜらる

のである

反戦會議に呼應 左翼連中が支持の骨を計畫

催される反戦會議に呼應して「東京二日韓國通」上海で開 當局で嚴重警戒中 中であるが。其の第一着手されているという。

方を申込んだので當局では嚴トのでは一方を申込んだので當局では嚴 の會、反ファッショ同盟其他之を支持するソヴィエート友 して今回事務員及嫡信夫の増 6、志願者は左記了知至急履 歴書携帯団局郵便課へ出頭せ 以上の興校を卒へ身体強健事務員。中郷又は之ご同程度

電報電話局長等

思想健質なら者にして市中

街はへ乗込んで來て四日を初

定であた。初日の藝題は第一が最後の六日は晝夜開演の**き**

渡邊松子爾女史は來る六日午東京基督教青午會由比喜代、 挨拶の為め二日市内主なる個台、中村榮作兩氏を伴び就任台、中村榮作兩氏を伴び就任台、中村榮作兩氏を伴び就任台、中村榮作兩氏を伴び就任

十分最ハルビンへ出發のはずれの三日間各方前を視察し十日を林柱復十一日午前八時四日の三日間を方前を視察し十 所を歴訪した

繼の に確實なる保證人を有する

題人を要す の通信夫 高等小塚卒業以上の のでは、 田代憲兵司令官

ラジオ中郷

雜音除士

去良好

朝鮮滅信局の研究發表

新任披露宴

話出來るご遞信局で確認した。好で京城、東京間の長距離に翻解を向けてるたが、成績良 新京ヤマトホテルに於て開催新年披露智は二日午後六時半 小人三十銭であるさ

され、阿村参謀副長、小林駐 南海軍部司令官。牧野飛行除 市会官。谷大使館参事官、河 市会官。谷大使館参事官、河 市会工の 市会工の 市場名出席し、 市上田代司令 蒙古研究のため來繍。一年大正四年参謀本部員さして 餘をこの地に送つて以來約

新京郵便局で

事務員通

信夫募集

ん。二十五日出生 出生

取扱つて害た電信。電話事務

會社に移管せられ新京郵便局は本月一日より協問電信能話

ふ事さなつたが、同局では此では専ら郵便事務のみを取扱

此

在

高野公島氏。三十一日死去 高野公島氏。三十一日死去 高野公島氏。三十一日死去 △新京市外南嶺一番地宮野里 藤傳七氏二男政吉さん、三

新京中央通内人。TCL 3873

入場科特等金一圓二十段。 軍人學生五十錢。

郎氏長女照子さん。十九日本新京東四條明八番地小島鐵 古凶嗣福

△新京露月町四丁目页斯會社

新京商店名入

合賜はり度く御願申上ます弊社の微意に御贊问を與へられ、 社員参上の節は篤と御談

圖

出版豫定期日 市內平安町一丁目三番地 本年十月一日 京案內 0

滿洲國 奉天圖書館長衛藤利夫

て害を加へねここになつて! 坊さんは如何なる馬戦も決 知れませんが、少し以前までである。誠心誠意氏の利福安節は左様ばかりでもないかも者たるものは道の體得者具現及ばぬ尊敬をうけて居る、當った、體あたりさは何か!王支那の王朝は護度代つても孔 漢人は康煕に急所を衝かれて支那の王朝は護度代つても孔 である。誠心誠意氏の利福安である。誠心誠意氏の利福安である。誠心誠意氏の利用を を急所さして見て取つて故意 挺して之にサービスす ある。若し之を漢民族の急 れが低物では駄目だ。

(五) 活化するには力が要る、力はの動きをなるないここを知つの動きをなるないここを知つては十分の動きをなるないここを知つ つたが道や徳はそれ自體が只

山下の草澤の間から出た樹族 女真の末を以て、手にあまる 英人を制して大清帝殿さいふ 古代羅馬の女化で輝きを争ふ 花まわ跡訣さいへば和訣さい ふものはこれだけです。これ は三百年以前の清朝の建設に なまわびまさいへば和訣さい かの満洲建國の政治工作に於て の満洲建國の政治工作に於て の立とは であったの人 山下の草澤の間から出た蠻疾、成は勿論をの力を大いに使寒殿は勿論をの力を大いに使

1現置」 きの素は私は近代の世界に

こを思ふ時備州に於て先哲のの足を印したさころであるこ

奏て出でて苦る、これは世界「カ」さの大調和を身を以て を調和した如く康熙は「道」さがゲーテ州「詩」を「現實」を は人類の誇りであるさ思ふ。 やニストさしてゲーテの存在

白、黒龍の間から湧き上つた 強かその血に於ては瞬期の長 現かその血に於ては瞬期の長 の土は骨で偉大なる哲人帝王 の确洲に來てゐる。そこいら彼は治世六十一年間に數回こ の近世史を最も高いさころで

無上の光楽である 無上の光楽である

今回の職務は私にさつて最 初であり心中酔らず不安を 悪するが各位の毎指導によ つて重賞を完ふしたい さ挨拶を述べ、小林梅軍司令

民にさつて此の上もない幸 である

ドイツ刺オットー測量符(定價八百圓)

右新品同様ノ品 格安ニテ至急管渡シ度シ

新京東二條通廿五

屋

明待するこころ頗る大である。高適なる閣下の抱負經倫にて對支閣係は益々重大さを 今日の彌州の情勢から申し 一東京中央放送局編輯 研京後六・二〇 語郷講座 (商州語) 講師 植公金枝 (日本語) 講師 植公金枝 (日本語) 講師 植公金枝

競馬會從事員募集

に散管した。同八時盛管理 草人と明石一派

お募集す至急來談の事

B B

金二圓五十錢

郎。明智京二郎。北村恵夫阪好。寛靜郎ブロの幹部東正二の・池田芳郎。星嶺、伊達秀や、池田芳郎、星嶺、伊達秀 ロの名を馳せた上山草人が中の貴族に扮し一躍世界的にグ 四日が初日 には簡単に期に美人のサービスできつと御漏足遊ばします御宴會のシーズンが参りました遠來の珍客御歡迎月例御會合

御宴會別選で二十名様迄

要プロのスター環光子。 演ぶ キャマのスター毛利峰子。 原百合子。河村陽子、川岡千度、公岡美代子。前田女子銀度子、桥あい子なごの美しいまころの加入した大一座が秋まごろの加入した大一座が秋まである。 御一人様金一圓五十錢より五圓迄 コツクは元ヤマトホテルチーフ

御酒は灘の

一本白鶴

他で味はヘの甘味しい料理 称京富士町三了目

富 電話三四五六番

サロン

アデノイド扁桃線疾患 特二難聽耳鳴症(耳硬化症)漫性中耳炎

蓄 膿 症

鍋谷耳鼻咽喉科療院

病室ノ設備アリ 新築清契ナル 醫學博士鍋谷傳一郎 新京曙町三丁目二十三番地 電話(呼出)三七八五番

が動となったのだ。酢糖な水気で あるから、井戸に経路があると申 しても、共を埋めて了ふの、双取

置けないので、お敬の部屋へやつ

〇話三七五六番

石

和洋行

然し当我の命とあつては、捨て

をひたい。早速沿連れよ」

「餘の儀でもない。お朝の事であ

『恋太夫々々と』

即十成と既にかって、妻に取持つ

ですったのに、近来院となく

む太大けい紅き分が、同心大松

痔疾科

吉野町市場前ミツワ屋書店内

モヒ

學

社交服着付

婚禮衣裳着付

小兒科

ĭ

既の験だ。ヨ千明の意味である

ら配とか申上げて近野らねに限り

診察時間

至午後六時

(日曜祭日午後休診)

醫學士

醫學士

つばり毎夜出るに根値ない」

かりになったので、 受くの歳はや 音々が 微や近づかないから、あれ

の功徳のり迷心を起せば凶

新京日日新聞社 常 二二二〇〇番

口齒科外科

田

中

電話三七〇九

新京吉野町一丁目十四番地

中中部が安穩病厄盗難警戒

苦慮して功成ら

否はの男女は反縁に

間を立過く事となった。瞬り屋

事になって了った。

聞つて再び怪異の既が耳に入ら

と本所領地町の四ヶ町で

寒散したものと見える」 戸に徹代されたとけで「幽野共も

も成り離さ不良日

『流石剛勇無双の我君だ。一晩井

三大阪商船出帆

其方は無意で知るまいが、此即 予が住むやうになったのは、 した武士の意気地からである。 の再び立たぬやう。世のます」 『成程、左様な由來附きの物でど 興農探閲は是だけで済んだ。以

ば相當の利ありて繁昌の日 緊張味を欠かず 軽異妄動せざれ

新京、出張所電話四一三七番 東京出張所電話四一三七番 東京出張所電話四一三七番 東京出張所電話四一三七番 電話四一三七番 電話四一三七番 電話四一三七番 電話四一三七番 電話四一三七番 電話四一三七番 電話四一三七番

花も實もある

美人揃ひのウエータ連のサ ーピス振りを御覧下さい

ホガラカなホー

なる功果を齎すべき吉 ばいかる

亞米利加丸 九月十二日 九月十一日

を落さぬ様御用心の

御

挨

拶

すれば衛生は御安心電話有りれば御氣に召すこさお謂合ひ

料材廽床

板ヤニペ

木銘板井天

材作雜板甲橡

食物の事で御座います」

焼 る ば そ ば 品

天津ポープ

通日朝橋本日京新 番三二八四話電

1オンカフヱー 軍話二三七九番 理 料 御 開 番三〇一二。六三一二電

各種印刷で製本 印刷機械及材料 即小賣 北原紙店

店計時藤佐

板圖製・一フドヤニペ 飾裝內室•材具建具家 豐

品 店支京新會商川吉懿 香三一九二話電 町岡富區川深市京東

會 料 席 理 富士町一丁目 廼

電話二五〇七番

富士タクシー

かる

*** 乞工場縱覽 *** I

塲

住

+

新京住吉町 奉天浪速通 九 六

Ξ

部 鐵 I

機

械

製

作

並

あつて、岩壁な作りで配と

たといふ其製朝から、少し終子が

長春美容院 可以三一五九 諸 特 鐵

會御席理

塔、 般 鐵 橋 鐵 骨 梁、 骨 鐵 屋 製 骨テラ 其他 製 並 鑵 " 建 I 設 木

卸問屋 新京日本橋通七二 工 福 无 田 支 安東九八〇

朝日タクシ 仰用の節は是非 *電話三二九五番 御引立を願ひます 改名致し

司公車動自日 目丁三町士富京新